

要請番号 (JL51225B27)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ガーナ	G237 手工芸	20～45 歳のみ	個別	交替 2代目	2年	・ 2026/3 ・ 2027/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

スンヤニ職業訓練校

3) 任地（ボノ州スンヤニ市） JICA事務所の所在地（アクラ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機で約1.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

スンヤニ職業訓練校は1979年に女性の雇用機会や収入向上を目的に設立された。現在は男女共学となり服飾、自動車、建築、調理、電気、ICTなど10コースを開講している。入学対象は中学校卒業生で、生徒数は約550名、講師は約40名。年度予算は約450万円(人件費を除く)。かつてJICA海外協力隊が活動していた(手工芸、2024年5月まで)。ガーナでは雇用の受け皿となる民間企業が十分発達しておらず、卒業生は多くの場合、各業種の親方に弟子入りするか、自ら独立開業することが求められる。狭き門だが、成績優秀者には大学進学への機会もある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ガーナ国内には多くの仕立屋が立ち並び、カラフルな生地を使用した洋服は老若男女に好まれ、日常的に洋服が仕立てられている。そのため地方においても洋裁の仕事は需要が多く、配属先の服飾コースも女性に人気のコースである。本コースでは、現地で人気のプリント生地やビーズを使用した服飾小物類の製作実習を行っている。しかし商品のデザインが古く、輸入品と比べて質が悪いため、売り上げが伸びていない。JICA海外協力隊は、対象コースの実習をサポートすると共に、新たなデザインの提案や助言、新商品の開発、既存製品の品質向上による販路拡大が求められている。また、同僚に対して同分野に関する知識、技術の共有や指導を強く求めており、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 服飾コースにおいて、訓練生に裁縫の基礎を中心とした指導を行ない、縫製技術の向上を支援する。
 - 同僚教員と共に、既存製品のデザインの改善や製品の品質向上の支援を行う。
 - アクセサリー等の小物類を中心とした新たな商品のアイディアを提案する。
- ※受け持つ学年やコマ数は、赴任後に配属先と相談して決定する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

手動ミシン12台(BUTTERFLY製)、電動ミシン1台(Gemsky製)、裁縫道具(メジャー、はさみ、針等)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

校長(男性、50代)

服飾コース長1名(女性、40代)

服飾コーススタッフ6名(女性、20代～40代)

活動対象者:

中学校卒業程度の女子生徒 約90名(各学年30名程度)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	その他	英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[性別]：（ ） 備考：

[学歴]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：専門的な知識・経験を要するため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（25～35℃位）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

不定期な停電・断水がある。停電は数時間程度で復旧することが多いが、断水は数日間以上に及ぶこともあり。生活使用言語はチュイ語。赴任後に現地語訓練を実施する。